



ひまわり

第27号

2025年2月発行

「無意識の思い込み」していませんか？

「女性はこうあるべきだ」「男性はこうあるべきだ」そんな無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）にとらわれていませんか。「私は誰にでも公平、平等に接しているし、考えている」と思っている、実は長い暮らしのなかで知らず知らずのうちに思い込みや偏見をもってしまうことがあるものです。

**女性は赤っぽい色を好む、
男性は青っぽい色や
黒っぽい色を好む**

落ち着いた色を好む女性はたくさんいますし、明るい色を好む男性もたくさんいます。性別で好みの色は決まらないはずですが、なぜか女の赤ちゃんに赤やピンクの服、男の赤ちゃんに青っぽい服を着せることも多いですね。

例えば…

**学級委員のトップは男子、
ナンバー2は女子**

皆さんの時代はどうでしたか。ある世代では「必ず男子がトップだった」という場合もあるかもしれません。もしかすると、それは日本の政治の世界で女性の総理大臣がまだいないことにもつながっているのかも。

**保育士は女性の仕事、
バス運転士は男性の仕事**

保育士のほか、看護師なども女性がする仕事と考えられがちです。バスの運転士のほか、自動車整備士などは、男性がする仕事と考えられがちです。そうした社会的な思い込みが、人の働く機会を減らし、人手不足につながっていないでしょうか。

男は仕事、女は家事

女性の就業率が増加しています。女性が仕事をしながら家事の大半をしているということはありませんか。家事が得意な男性もいます。男性が家事を分担している場合でも「手伝っているんだ」という意識はありませんか。

**今回は世の中に存在する無意識の思い込みを乗り越えて、
活躍する人たちにインタビューしてみました。**



保 育 士 イン タ ビ ュ ー

今回は、過去に「頑張っています!」コーナーに登場していただいた先輩職員の方々の「今」と、それに続かれた後輩職員を取材させていただきました。

みなみ ひろ まさ
南 寛方さん
(花岡保育園 副園長)
職歴 23年



ほし やま かず ひろ
星山 和弘さん
(西保育園 園長)
職歴 23年



つじ い ゆう た
辻 勇太さん
(春日保育園 主任)
職歴 16年



きた で じゅん と
北出 潤人さん
(東保育園)
職歴 4年



Q. 女性の多い職場の中で、男性で良かった、職場で役に立っていると思うことはありますか？

南 保育現場では力のいる仕事もたくさんあるんですけど、これまで女性だけで園の運営をされていたことには、とても敬意を感じています。

星山 男性だからこういうことができるということはあまりないですが、様々なことを率先して行うところをもったことが役に立ったことにつながっているかもしれません。また、職場に男性がいる環境に慣れていただけるひとつのきっかけになっていったということもあると思います。ただ、どこかでそのことを必要以上に意識しないでおこうということもあったかと思っています。



Q. 男性保育士として子どもたちとかかわる中、保護者の反応の変化はありましたか？

辻井 いいとか悪いとかではなくて、ちょっと不安に感じられたり、男性ってという目線で見られることはあるのかなというのは感じます。自分がどう関わっとるかとか、日々、子どもとの関わりを伝えていくなかで、安心してもらえている声を聞かせてもらったりします。

北出 周りの方からの男性やからってという声はないんですけど、1年目は、やっぱり男性が少ないという中で僕自身が意識してしまう部分はありました。去年、保護者さんから「この園に居てもらってよかった」と言ってもらったことがあって、すごい励みというかもっと頑張っていこうという気持ちになりました。

星山 最初は保護者の方々も慎重なところがあったと思いますが、日々接していく中で「(先生で)よかった」と言ってくれたこともありました。自分の保育を見ていただいたり、保護者の方々とのやりとりを通して信頼を得ていくことが大切だと思います。

南 保育経験をかさね、そして昔よりも男性保育者がちょっとずつ増えてきたので、今では違和感なく受けとめてもらえるのかな…と思ってます。でもまだまだ少数派なので、保護者の不安の声がなくなったわけではないです。

Q. 保育現場に入った当時の自分に声をかけるとしたら？

星山 当時の自分には「保育は楽しいよ、大変なこともあるけど面白いよ、奥深いよ、頑張って」と声をかけたいです。

南 当時の自分は、保育を楽しむというところに至っていなかった。そして、保護者の方と一緒に考えていく、ゆっくり寄り添うといったことが大事ななんやろなっていうのが今になってわかったことなので、そういう意味で「焦らんでいいよ」と伝えてあげたいな。

Q. 身内に同じ仕事を勧めますか？誇りに思うことをお聞かせください。

南 子どもの成長というか、本当に些細な変化とかそういうところに立ち合えるというのは、誇らしいことやなっているふうに思っています。

星山 勧めるかという点ですが、安易には勧めると言えない自分もいます。でも、本人が望んだら応援したいなと思っています。子どもたちとかかわる中で、成長を感じたり、生きていることの素晴らしさを感じさせてもらえる保育士という仕事は誇りではないですが、素晴らしいと感じています。

辻井 この仕事をやりたと言ったら頑張れと言うし、やるとなったら後押しをしたいなと思います。誇りに思うところは、子どもや保護者と関わるなかうまくいかんこともいっぱいあるんですけど、何ヶ月か経って実った瞬間をみんなで感じられたり、感動を共有できたり、やり遂げられるということを、子どもたちの成長を通して感じられるのはこの仕事の魅力かなと思っています。

北出 自分が保育士になりたいと言ったとき、両親が否定せず頑張れと言ってくれたので、自分も同じようにすると思います。よく子どもたちから「先生、大好き」と言ってもらうんですけど、日々の積み重ねがこの言葉に繋がってくるのかな、そう言ってもらえるのはこの仕事ならではかなと思って、その部分が誇りというか、僕はすごく好きです。

介護福祉士インタビュー

公益社団法人松阪地区医師会ホームヘルパーステーション



いな がき たく ま
稲垣 拓馬さん
職歴 22年（管理者）



たか の た づ こ
高野 田鶴子さん
職歴 11年

Q. いつ頃から介護福祉士になりたいと考えましたか？ 先輩(管理者)から見てどうでしたか？

高野 介護保険制度が2000年に始まって1年後くらいの20代の時に、これからは介護の時代だと意識してたんです。あの頃、基礎授業130時間の授業が必要で勉強しに行きました。介護はこういうものなんだ、いつか誰かに世話になると思って勉強しとこかなと思いました。

稲垣 最初は一緒に訪問に付いてもらってやるんですけど、その時の感じを見ていて優しい子やなと思ったのは事実です。私らとはまた違う視点を持っているというか、介護一本でやってきたっていう人から見れば、全然違う視点やったし。

Q. 異性の職員から介護を受けることに抵抗を持たれる方もあるのでは？

稲垣 長生きされている高齢者は女性の方が多いというところで、お伺いさせていただくお宅は女性と関わるっていうのが多いです。肌で感じることもあるし、「男性は嫌や」ってはっきり言われる方もあります。そういうことは、年に何回かはあります。

Q. 女性の職員が訪問した場合はどうですか？

高野 男性の入浴介助に行きますと、ちょっと焼きもちを焼かれる方もあり、「女性は嫌です」と。代わりに、稲垣所長が行かれたことがありました。

稲垣 男女というよりは人対人の仕事なので、合うか合わないかっていうところですべて決まるという感じかなって思いますね。



Q. 後輩に対してどのようなアドバイスをされていますか？

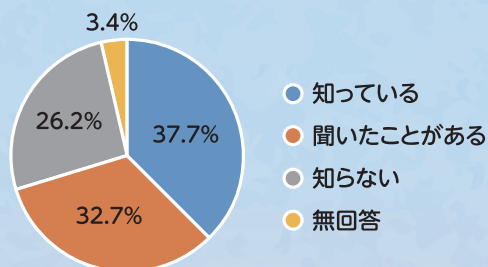
稲垣 今、私も訪問介護の現場へバンバン出ているので、後輩というよりは、同じ場に立ってる人と思って接しています。アドバイスというよりは、みんなで相談して、協力しあって解決するっていう考えの方が強いかなと思いますね。ただ、労働環境とか、相談があったらきちんとアドバイスせなあかん。いろんな相談をされるんですけど、それに対してできるだけ確な答えができるように話をしようと意識しています。

「松阪市市民意識調査」結果(抜粋)

住民基本台帳からの無作為に抽出した3,000人に対して、次の言葉について知っているかどうか調査を行い、1,379人から回答がありました。今後、「松阪市男女共同参画プラン」改定に向けて活用していきます。

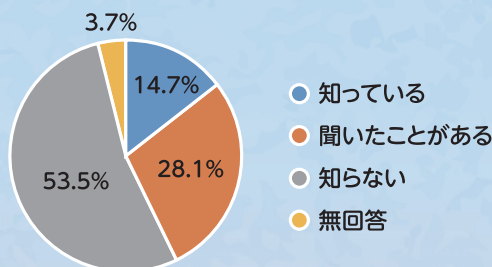
男女共同参画

男女が自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、ともに責任を担うこと



固定的性別役割分担

男女を問わず、個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにも関わらず、性別を理由として役割を固定的に分けること



令和6年度 男女共同参画事業報告

男女共同参画週間の啓発

6月23日～29日の男女共同参画週間に合わせて、1階ロビーにて啓発パネル展示を行いました。令和6年度のキャッチフレーズは、「だれもがどれも選べる社会に」です。



三重県内男女共同参画連携映画祭2024

令和6年10月26日(土)農業屋コミュニティ文化センターで上映した「そして、バトンは渡された」に320人の参加がありました。



©2021映画「そして、バトンは渡された」製作委員会

男女共同参画 さ・し・す・せ セミナー (さわやか・しなやか・すこやか・せっきよく)

男女が共に尊重し合い、心豊かにいきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現を目指し、セミナーを開催しました。

- 令和6年9月28日(土)
「夫婦げんかとDVの違い わかりますか?～子どもに与える影響～」
- 令和6年10月29日(火)
「知っておきたい! 言葉で変わるコミュニケーション」
- 令和6年11月12日(火)
「過去の大規模災害の事例から学ぼう～知っておきたい男女共同参画の知識と視点～」

女性に対する暴力をなくす運動 (パープルリボン運動)

11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」の期間に合わせ、11月1日から29日までの間、市役所1階ロビーにて啓発展示を行い、各地区市民センター等施設窓口に啓発パンフレット&ポケットティッシュを設置し啓発しました。



制作スタッフのひとこと

アンコンシャスバイアスは「思い込み」「決めつけ」「押し付け」となって無意識のうちに何気ない発言や行動として表れてしまいます。一人ひとりものの見方や捉え方が異なるという事を常に意識することが大切ですね。(北村)

思い込みは、人に傷をつけたり、仲が悪くなったり、事故に繋がったりいろんなことを引き起こします。その場その場でもう一度考えるという意識付けが大切ですね!(田中)

私の職場は以前男性ばかりで管理職も皆男性でした。今は女性が半数を占め管理職もいます。会社や社会が変わる中で、自分も幅広い視点を持ちたいと考えるようになりました。(小山)

未開の一筋の道を歩まれる体験の言葉一つ一つに、海の底で結実する真珠の輝きを感じ、人を知り松阪で生きることを教えてもらいました。(萩原)

たとえその相手が男性であれ女性であれ、大人であれ子どもであれ、思いやり=愛で接すれば、だいたい事はうまくいくのではないのでしょうか。(高橋)

どのような職種であっても共通している点は、長年のキャリアの積み重ねが今に生かされ、その人の生き様でもあり、まさに「継続は力なり」だと思います。(松浦)

■ 発行 松阪市人権・多様性社会課

〒515-8515 松阪市殿町1340番地1
☎ 0598-53-4339 FAX 0598-26-4035
✉ jinkyo.div@city.matsusaka.mie.jp

■ 企画・編集

松阪市男女共同参画情報紙制作スタッフ
北村真寿美・小山隆司・高橋範子・田中隆幸
萩原則子・松浦光義

制作スタッフ募集!

あなたも情報紙まわりの制作に参加してみませんか?